

### 擬宝珠（ぎぼうし）

花は咲いている  
ただそこに

あるがままの姿で  
愛（め）でられながら

人は ただそこにいるだけでは  
許されないのでしょうか

営みをつづけなければ  
愛されないのでしょうか

花のようにたたずみ  
黙ったまま そこには

絵 中村知文 詩 石川敏夫

学力状況調査の結果や分析等については後日報告します。。

#### 子どもって本当に可愛い！！

登校途中の女の子と握手しました。「校長先生の手あったか～い。」のあとに、「心がつめたいんじゃないね。」とさらり。

黄色い小さな花を葉っぱにくるみ、大事そうに手に持って正門をくぐる女の子。「どうしたの？」と尋ねました。曰く「花が寒そうだから葉っぱのふとんを作ってあげたの。」2年生の女の子の感覚に感動！

「おはようございます」と3年生の男児から先に挨拶の声。「エッ！」3年目にして初めてのこと。びっくりするやら嬉しいやら。変化は必ず起こります。

### 手にとって また手にとって 財布みる 母さん喜ぶ？ と尋ねし児ら（修学旅行 土産売場で）

修学旅行は友達のすばらしさ、仲間の有り難さを再認識させてくれたようです。「二日間の修学旅行を通して、いろんなことを学びました。今まで少し苦手だった人も含め、いろんな人のことが少し好きになれました。私は、みんなで何か一つのことをするという事は、とてもすごいことなんだなって思い始めました。」

「この修学旅行は、僕にとって6年生1番の思い出になりそうだ。それは、友達との絆をもっと深めることができた修学旅行だったからだ。」

「このスペースワールドで学んだことは、仲間がいたから楽しめる。一人だと絶対につまんない。だから、友だちはいいなって感じた。いろんなことを学んだ修学旅行でした。」  
( 学級通信から子どもの感想を抜粋したものです )

運動会で見せた最高学年としての6年生の力を、今度は修学旅行で見せました。入館式、退館式、解散式等の司会、代表挨拶、聞く態度等もりっぱでしたが、今回より感動したのは、ホテルの大ホールで夜に行った学年集会大パーティーでした。歌あり、ダンスあり、コントあり。担任以外の引率者5名は審査員に指名されました。「10点、9点、9点、10点、10点、合計48点」「審査が少しあまいようですね」などと司会者の子どもに注意されながら。出し物と出し物との幕間には浴衣を着た子どもたちによるヒゲダンスで楽しませる演出も。パーティーの最後にはそれぞれの演技に対し表彰までありました。こんな修学旅行は初めてでした。さすがの6年生でした。

ザターンは 空から地上に どうちゃくだ (幸一)  
ザターンとは恐怖の絶叫マシンのこと



すすきの穂 風にゆられて 秋吉台 (満花)



ホテルから 見えた夕日に 叫びたい (咲)

恐竜の 太古の昔に 走り込む (純)  
命の旅博物館を見学して

ヴィーナスで 一回転の 無重力 (克弥)  
三大絶叫マシンの一つひねりのヴィーナス

みんなでね 行った旅行も これっきり (彩花)

各学級の通信に紹介されていたものです。

## 11月12日(月)～17日(土)は 学校へ行こう週間

別紙でご案内しておりますように「学校へ行こう週間」を計画しています。保護者の皆様、地域の皆様、一人でも多くの方に船越小学校で学ぶ子どもたちの様子をご覧頂き、お気づきを知らせていただければ有り難く存じます。